



人間系コロキウム

第 3 7 回

2017年

10月11日(水)

12:15~13:15

文科系修士棟
8B210

学群生、大学院の学生
および一般の方の参加も
歓迎します

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会
(コロキウム運営担当)

✉ research@human.tsukuba.ac.jp

筑波大学 人間系コロキウム

カリキュラム研究の多様性：
学習指導要領、時間割、履歴、そして教師

講師：根津朋実

筑波大学人間系教育学域准教授

カリキュラム研究は一見「仕組み」を扱う分野と思われがちだが、実際の対象は多種多様である。この「つかみどころのなさ」は魅力でもあるが、専門家の養成は容易でない。カリキュラムを法規の用語「教育課程」ととれば、昨今の「教科化」、学習指導要領や検定教科書を見捨てることはできない。各校の実践に目を向ければ、年間指導計画や「時間割」、学校行事や運動会の屋台の有無等も、必須の研究対象となる。また学習者からみれば、意図的な教育内容の他に、教師の口癖や身振り、「校風」等、教授者が意図しない「かくれたカリキュラム」を学ぶこととなる。こうして学ばれた結果は、公的私的な「履歴」(curriculum vitae)として「生きられる」。さらに国家カリキュラムの伝達者とみるか、ルールのもとで工夫する創造者・開発者とみるかで、教師の役割も異なる。以上、この発表は、当該分野の幅広さについて概説する。

Education
Psychology
Disability Sciences